

info-pack

株主の皆さまへ

第64期事業報告書
(2024年4月1日～2025年3月31日)



株主の皆さまへ

President's Message



代表取締役社長

菱井 義彦

第64期（2024年4月1日から2025年3月31日）の連結業績としましては、連結売上高は606億80百万円（前期比5.0%増）、連結営業利益は29億86百万円（前期比8.5%減）、連結経常利益は33億3百万円（前期比8.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億88百万円（前期比12.0%減）となりました。

当期における我が国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどを背景に、緩やかな回復基調が続いています。一方で、米国の政策転換に伴う影響や、地政学的リスク、不安定な為替相場、原材料価格の高騰に起因する物価上昇などにより、景気の先行きには依然として不透明感が残っています。

当社グループが属する業界においては、脱プラスチックの流れはますます加速しており、カーボンニュートラルや循環型社会を意識した環境配慮型商品の需要が拡大しています。

このような状況のもとで当社グループは、「パッケージ×サービス」でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」と定めた長期ビジョンの実現に向けて、中期経営計画に沿った活動を継続しております。

営業販売部門では、経済活動の回復を背景にした既製品の主力商品の拡販と共に、特注品の受注活動が活性化いたしました。また、環境配慮型商品の需要拡大もあり、売上は増加いたしました。

店舗販売部門では、イベント需要やインバウンド需要が売上増加に寄与いたしました。主要顧客の飲食店、小売店の業績が、調達コストの上昇に伴い伸び悩んだ影響を受けたものの、店舗外販の新規開拓が奏功し、全体的な売上は微増となりました。

通信販売部門では、引き続き好調を維持しています。「シモジマオンラインショップ」（当社ECサイト）において、「シモジマモール」への商品掲載点数が130万点に増加しました。また、WEB広告を強化した結果、サイトへの流入数も拡大し、売上は増加いたしました。

これら各チャネルの販売活動効果により、グループ全体の売上は、過去最高額を更新いたしました。

利益面では、売上が堅調に推移したものの、年間を通し円安及び原材料価格の高止まりが続いたことで粗利率が低下し、売上総利益が伸び悩みました。また、物流費及び人件費など販売費及び一般管理費の増加も相まって、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前年実績を下回る結果となりました。

今後も当社の活動へのご理解とご協力を引き続き賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2025年6月

パーパス

「夢を包み、心を結ぶ。」

社是

・誠意・熱意・創意

経営理念

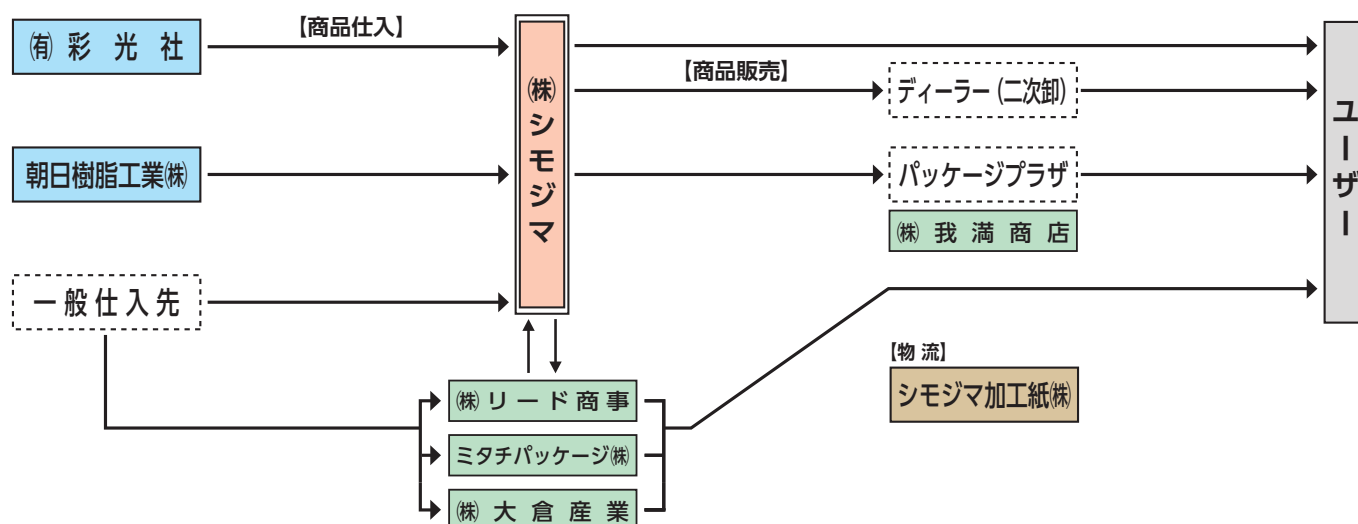
- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

長期ビジョン

「“パッケージ×サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」

長期方針

1. 事業の拡大
2. 経営基盤の強化
3. 経営体制の強化

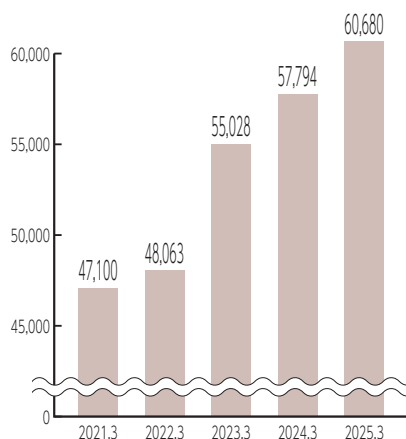


損益の状況

Profit and Loss

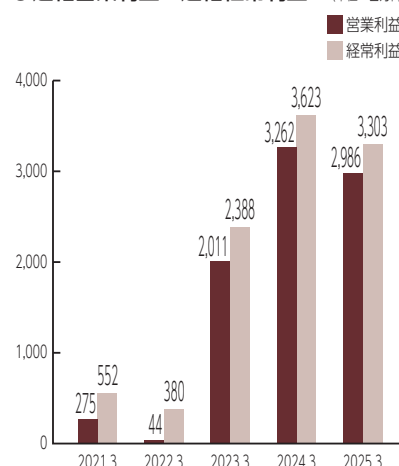
●連結売上高

(単位: 百万円)



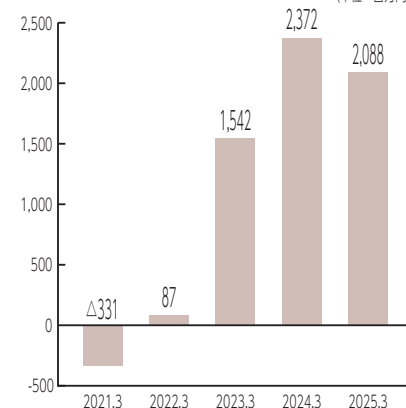
●連結営業利益・連結経常利益

(単位: 百万円)



●親会社株主に帰属する当期純利益または親会社株主に帰属する当期純損失 (△)

(単位: 百万円)



記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業セグメントの概況

Business Segments

■〔紙製品事業〕

連結売上高 99億97百万円
(前期比1.5%減)

<主要な商品>
紙袋、包装紙、紙器



■〔化成品・包装資材事業〕

連結売上高 364億94百万円
(前期比6.8%増)

<主要な商品>
ポリ袋、食品包材、その他包装資材等



■〔店舗用品事業〕

連結売上高 141億88百万円
(前期比5.3%増)

<主要な商品>
文具事務用品、POP用品、店飾雑貨等



1. 株式会社大倉産業のグループ参加

当社は、2024年1月17日付で、株式会社大倉産業の全株式を取得し、子会社化いたしました。

同社は、衛生用品を北海道で病院、介護施設、幼稚園等に対して販売を行っており、ポリ袋、手袋、ペーパータオルなどを主力商品としています。北海道内市場で販路トップクラスのシェアを誇っています。今後、当社とのシナジー効果を発揮することにより、グループ全体の企業価値向上と発展を図ってまいります。

<http://www.ohkura-net.jp/>



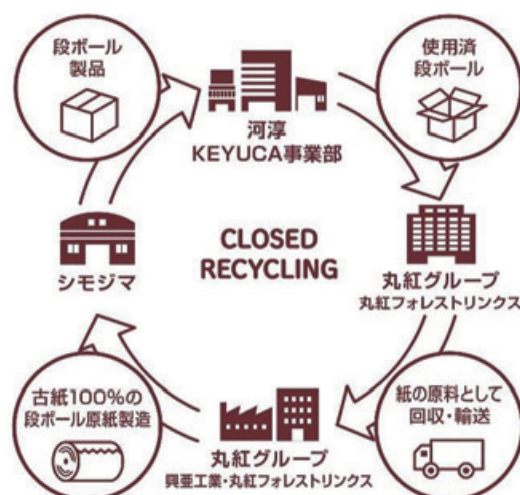
2. 使用済み段ボールのクローズドリサイクルによる 梱包用段ボールの提供開始について

当社は、クローズドリサイクルの推進（*1）により、サーキュラーエコノミー（*2）の発展への貢献を目指しています。

当期は、河淳株式会社様が運営しているライフスタイルショップ「KEYUCA（ケユカ）」向けに、使用済み段ボールを回収し再資源化を行う試みを開始しました。河淳株式会社様の今市テクニカルセンターで排出された使用済み段ボールの一部を用いて、当社とコラボレートする丸紅グループ2社（丸紅フォレストリンクス、興亜工業）が使用済み段ボールの回収、原料供給、再生紙の生産・供給を行い、当社が、梱包用段ボールに製品化します。生まれた段ボールは、2024年12月初旬頃から、順次KEYUCAオンラインショップの出荷にて活用されます。

（*1）クローズドリサイクル：自社で使用済みとなり排出したものを素材（原料）として再利用し同じ用途の自社製品へ循環させるため、環境負荷が少なく資源を効果的に活用する。

（*2）サーキュラーエコノミー（循環型経済）：従来の「使い捨て」型の経済モデルとは異なり、資源を最大限に活用し、廃棄物の再資源化を極力重視することを目的とした経済モデル。



3. シモジマモールの充実

当社は従来よりEC（電子商取引）を積極的に展開しております。当社のメインECサイトであるシモジマオンラインショップでは、直送品を中心にご案内するECサイト「シモジマモール」への商品掲載点数が130万点に増加しました。当社が取引するサプライヤーの商品を厳選して紹介しており、好評をいただいております。

https://shimojima.jp/shop/pages/shimojima_mall.aspx?srsltid=AfmBOoQXOBZnlxqsl3YGQ-tOIRdoFt45Tt4MmQXA74BY97Lio05ePB



▲シモジマモール ホームページ

4. CO₂排出に関する状況

当社では、CSRの重要課題として電力消費抑制の取り組みを続けております。

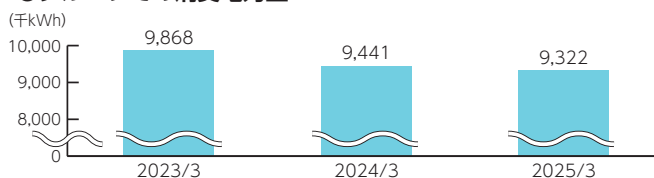
当期の連結でのCO₂排出量は、Scope1につき572t-CO₂（前期比13.0%増）、Scope2につき3,127t-CO₂（前期比19.2%減）となりました。

Scope1につきましては、物流子会社等においてガソリンの節約が進んだものの、営業活動が活発化したほか、M&Aによる新しい子会社のグループ参加などの要因により、増加となりました。

Scope2につきましては、新しい東大阪配送センターの本格稼働やM&Aなどの増加要因もありましたが、大規模店舗を中心にCO₂フリー電力の導入を進めた結果、グループ全体ではさらなる減少に成功しました。

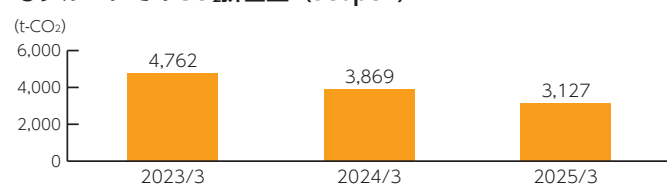
温暖化の影響が収まらないなか、当社グループとしましては、今後はCO₂フリー電力のさらなる活用のほか、LED・エコカーなどの新技術の積極導入を推し進め、環境負荷の低減を引き続き図ってまいりたいと考えます。ご理解の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

●グループでの消費電力量



* 小数点第2位以下を切り捨てております。

●グループでのCO₂排出量（Scope2）



* 調整後排出係数換算：環境省・経済産業省の省令に基づき算出された係数で換算しています。
* 小数点第2位以下を切り捨てております。

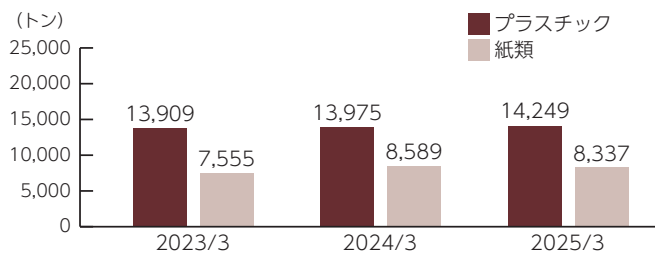
5. 容器包装リサイクル法への対応

当社は、従前より、包装の利用による環境の負荷について認識しており、その対応の一環として、容器包装リサイクル法への対応に取り組んでいます。

具体的には、特定事業者として再商品化委託料を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会にお支払しているほか、容器包装抑制に関する報告書を関東経済産業局に提出しています。

排出抑制に関して、プラスチック製買物袋有料化制度への対応のほか、声掛け、お客様向けのポリ袋の薄肉化や紙袋のサイズの適正化等の努力を継続している等、今期も各種環境配慮型商品の開発に取り組んでおります。

容器包装リサイクル法対応による取り扱い容器包装資材の量の推移



■ 新商品のご紹介

New Products

1. ペーパーフードトレイ

スーパーの総菜売場や外食産業のテイクアウトに適した充実のラインナップで展開いたしました。



▲ペーパーフードトレイ（フードトレイ／深型）

2. PFASフリー耐油紙

有機フッ素化合物を含まない、耐油性をもった包装資材を業界に先がけ商品化いたしました。



▲ PFASフリー耐油紙（NF耐油ガゼットパック）

3. 水性コーティング

PEラミネートを代替する新技術のコーティングによる包装資材を業界に先がけ商品化いたしました。



▲水性コーティング（エコデリパック）

◆連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	前 期 （ 2024年 3月31日現在）	当 期 （ 2025年 3月31日現在）	科目	期別	前 期 （ 2024年 3月31日現在）	当 期 （ 2025年 3月31日現在）
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		24,312	23,232	流動負債		7,485	5,430
現金及び預金		9,681	8,086	支払手形及び買掛金		4,355	2,942
受取手形		337	175	1年内返済予定の長期借入金		9	44
売掛金		6,797	6,958	リース債務		122	132
電子記録債権		1,279	1,246	未払法人税等		799	393
商品及び製品		5,197	5,737	契約負債		42	57
原材料及び貯蔵品		565	505	賞与引当金		482	480
その他		467	535	役員賞与引当金		67	35
貸倒引当金		△15	△13	その他		1,605	1,344
固定資産		19,095	18,611	固定負債		1,165	1,235
有形固定資産		14,142	14,171	長期借入金		35	78
建物及び構築物		5,492	5,366	リース債務		258	286
機械装置・運搬具		453	515	再評価に係る繰延税金負債		277	285
土地		7,760	7,760	退職給付に係る負債		288	300
リース資産		245	293	資産除去債務		116	124
その他		190	236	その他		190	159
無形固定資産		1,324	879	負債の部合計		8,651	6,665
のれん		289	32	(純資産の部)			
リース資産		54	48	株主資本		40,368	40,931
その他		981	798	資本金		1,405	1,405
投資その他の資産		3,627	3,559	資本剰余金		1,273	1,280
投資有価証券		647	515	利益剰余金		38,039	38,564
長期貸付金		302	293	自己株式		△349	△318
繰延税金資産		600	591	その他の包括利益累計額		△5,679	△5,822
保険積立金		1,814	1,874	その他有価証券評価差額金		378	274
その他		322	317	繰延ヘッジ損益		40	3
貸倒引当金		△60	△33	土地再評価差額金		△6,195	△6,203
資産の部合計		43,407	41,843	退職給付に係る調整累計額		97	102
				非支配株主持分		66	69
				純資産の部合計		34,756	35,178
				負債及び純資産の部合計		43,407	41,843

◆連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	前 期 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当 期 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
売上高		57,794	60,680
売上原価		38,621	41,243
売上総利益		19,173	19,436
販売費及び一般管理費		15,910	16,449
営業利益		3,262	2,986
営業外収益		400	406
営業外費用		39	89
経常利益		3,623	3,303
特別利益		1	70
特別損失		93	345
税金等調整前当期純利益		3,531	3,028
法人税、住民税及び事業税		1,165	920
法人税等調整額		△11	17
当期純利益		2,376	2,090
非支配株主に帰属する当期純利益		3	2
親会社株主に帰属する当期純利益		2,372	2,088

◆連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	前 期 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当 期 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
営業活動による キャッシュ・フロー		4,698	923
投資活動による キャッシュ・フロー		△1,479	△864
財務活動による キャッシュ・フロー		△678	△1,685
現金及び現金同等物に係る 換算差額		△0	0
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）		2,539	△1,626
現金及び現金同等物の 期首残高		7,111	9,651
現金及び現金同等物の 期末残高		9,651	8,024

2026年3月期業績予想

Business Forecasts

（単位：百万円）

売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
63,500	3,575	3,800	2,500

会社の概要 (2025年3月31日現在)

会 社 名 株式会社シモジマ
英 訳 名 SHIMOJIMA Co.,Ltd.
創 業 1920年
設 立 1962年4月26日
資 本 金 1,405百万円
本 社 東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
TEL 03-3864-0061 (代表)

従 業 員 数 (連結)842名
(単独)634名
*従業員数は就業員数であり、臨時雇用者は含んでおりません。

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発 行 済 株 式 総 数 23,647千株
発 行 可 能 株 式 総 数 67,000千株
株 主 数 18,960名

株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領
株 主 確 定 日 3月31日
中間配当金受領
株 主 確 定 日 9月30日
定 時 株 主 総 会 毎年6月
株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 (連絡先)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所 (プライム)
単 元 株 式 数 100株
公 告 の 方 法 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告の掲載URL <https://www.shimojima.co.jp>

役員一覧 (2025年6月25日現在)

代表取締役社長 笠井 義彦
代表取締役副社長 下島 雅幸
専 務 取 締 役 小野寺 仁 上席執行役員経営企画本部長兼管理本部長
常 務 取 締 役 川原 利治 上席執行役員営業統括本部長
取 締 役 大貫 学 上席執行役員商品本部長
取 締 役 渡辺 昭一 上席執行役員営業統括副本部長
社 外 取 締 役 梅野 勉 独立役員
社 外 取 締 役 岩崎 剛幸 独立役員
社 外 取 締 役 金井 千尋 独立役員
常 勤 監 査 役 古橋 孝夫
社 外 監 査 役 佐藤 裕一 独立役員
社 外 監 査 役 唐澤 貴夫 独立役員
社 外 監 査 役 大木 智博 独立役員
上 席 執 行 役 員 下島 謙司 グループ管理室長
執 行 役 員 池田 裕子 管理副本部長兼経理部長
執 行 役 員 尾尻 新吾 営業統括副本部長
執 行 役 員 高野 雅司 経営企画部長
執 行 役 員 松波 幸和 営業統括副本部長
執 行 役 員 藤谷 宗孝 営業統括副本部長
執 行 役 員 森井 宏隆 人事部長
執 行 役 員 片野慎一郎 営業統括副本部長
執 行 役 員 樫木 裕二 ミタチパッケージ㈱代表取締役社長
執 行 役 員 下場 洋 商品副本部長兼第一商品部長

株主優待制度のご案内

当社では、株主様への感謝のしるしとして、下記の要領で株主優待制度を設けております。当社グループの取り扱い商品（家庭で使用される雑貨）を贈呈いたしております。株主の皆さまにおかれましては、当商品をご愛用いただき当社グループの事業に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

1. 対象
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された、当社株式を100株以上ご所有の株主様
2. 優待内容
1,000株以上ご所有の株主様に対して、一律に希望小売価格5,000円相当の当社取り扱い商品で家庭で使用される雑貨類詰め合わせを1セット贈呈。
100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対して、一律に1,000円のクオカードを1枚贈呈。
3. 発送時期
毎年6月中旬より順次発送

以上



(写真は2025年度の株主優待品です。内容は変更することがございます。)

株式会社 シモジマ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-29-8
TEL.03(3864)0061(代表) FAX.03(3865)4470
URL <https://www.shimojima.co.jp>